

4回目接種の質疑について〈その他重症化リスクが高いと医師が認める者〉

第70回コロナ連絡会
(令和4年5月27日) 資料

- 4回目接種対象者である「②18歳以上60歳未満で基礎疾患を有する者その他重症化リスクが高いと医師が認める者」のうち、「その他重症化リスクが高いと医師が認める者」に関して、厚生労働省から、質疑応答が示されていますので、共有します。 [5 / 26 時点の情報](#)

〈照会内容〉

4回目接種対象者については、18歳以上で基礎疾患を有する者その他重症化リスクが高いと医師が認める者とあるが、

- ① 医師が認めるとあるが、この医師は予診をする医師か。
- ② その他重症化リスクが高い者とは具体的にどのようなものを想定しているか、国の見解をお示しいただきたい。

〈回答〉

- ① お見込みのとおりです。
- ② 新型コロナウイルス感染症については、基礎疾患を有する方は重症化しやすいことに加え、高齢の方、妊娠している方も重症化しやすい事が科学的に明らかになってきています。
また、海外の報告によれば、喫煙や身体不活動（いわゆる運動不足）といった生活習慣がある方も重症化しやすいとされています。
こうした様々な要因を踏まえて、医学的見地から総合的に重症化リスクをご判断いただきたいと考えています。

4回目接種の質疑について

第70回コロナ連絡会
(令和4年5月27日) 資料

○その他、主な質疑応答の内容について共有します。 <接種対象者>

5 / 26 時点の情報

<照会内容>

60歳未満の4回目接種対象はあくまで重症化リスクある基礎疾患を有する者に限られるものであり、感染リスクの高い職場で従事しているという理由のみをもって60歳未満の健常者に対して接種対象とできる権限は医師にはないと理解してよいか。

- ① 基礎疾患等がない場合、60歳以上が対象となるが、感染リスクの高い医療従事者等（60歳未満）が4回目接種を希望した場合は、やはり該当とならないのか。
- ② 重症化リスクの高い方と、頻繁に接触する医療従事者や施設従事者は、その他重症化リスクが高いに認められますか。

余剰ワクチンが発生した際に、ワクチンの有効活用という観点から、基礎疾患のない60歳未満の人を接種した場合、4回目接種に係る間違い接種に該当するか。

<回答>

ご認識のとおりです。

4回目接種の対象者は、①60歳以上の方、②18歳以上60歳未満の方であって重症化リスクの高い基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方に限定されていますので、それ以外の方に接種することはできません。

基礎疾患のない60歳未満の者は4回目接種の接種対象外であるため、余剰ワクチンが発生した場合にも、接種を行わないでください。

○その他、主な質疑応答の内容について共有します。 <判断基準>

5 / 26 時点の情報

<照会内容>

重症化リスクが高いと医師が認めるものとはどのように判断をしますか。 各自治体で集団接種会場を開設している中で、当日勤務する医師では判断が困難です。

接種実施医療機関において、予診時に対象者であることを確認することとされていますが、この確認においては診断書の提示などは不要であり、被接種者からの口頭の確認のみで足りるという理解でよろしいでしょうか。

基礎疾患の有無について、接種の際に基礎疾患で通院していることがわかる資料（お薬手帳など）の提出を求めているもよいか（義務）。

医師の判断により対象外とされた者は、一度対象外と判断されたら、その後も対象外となるのか。

<回答>

最終的には予診段階における接種対象者の確認を行うこととなりますが、これに加え、接種の予約を受け付ける段階や、接種会場での受付においても、接種対象者であることを確認するなど、接種対象者でない者が接種を受けることを防ぐための対応を取ることをご検討ください。

口頭の確認のみでも差し支えありません。

任意での提出を求めることは差し支えありませんが、提出が困難な場合を含め、対象者ができるだけ速やかに接種を受けられるように配慮をお願いします。

一度対象外となった者であっても、その後に疾患が生じて対象者となることは否定されないものと考えます。